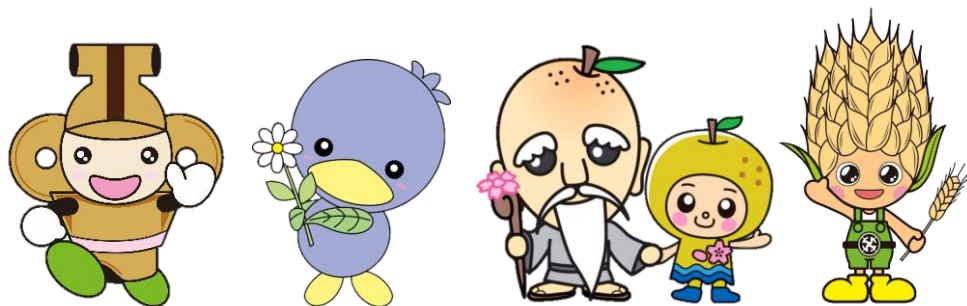


本庄地域定住自立圏共生ビジョン
令和4年度 取組進捗状況報告書



令和4年度 作成

本庄市・美里町・神川町・上里町

-目次-

1. 令和4年度取組進捗状況報告書について	2
2. KPI の進捗評価結果（概要）	2
3. 共生ビジョンに記載された各事業の実施状況について	
<u>(1)生活機能の強化に係る政策分野（4P～34P）</u>	
ア 医療	4
イ 福祉	10
ウ 産業振興	22
エ 文化	31
オ その他	33
<u>(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野（35P～58P）</u>	
ア 地域公共交通	35
イ 道路等の交通インフラの整備	52
ウ 地域の生産者や消費者等の地域連携による地産地消	56
<u>(3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野（59P～65P）</u>	
ア 人材の育成等	59

1. 令和4年度取組進捗状況報告書について

本庄地域定住自立圏共生ビジョンに記載された 35 の事業について、政策分野毎に設置された本庄地域定住自立圏構想推進協議会作業部会(WG)より提出された令和 4 年度の各事業における KPI(重要業績評価指標)^{※1}の進捗評価、及び取組状況報告をまとめたものです。

※1 KPI : 各事業の進捗管理を行うために設定された指標。定量的な成果を把握するため、共生ビジョンの計画期間毎に「基準値」と、計画終了年度における数値目標である「目標値」を設定し、それを元に事業の進捗管理を行う。

2. KPI の進捗評価結果(概要)

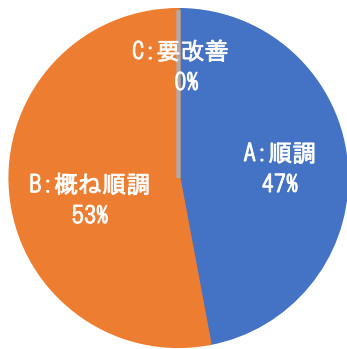
() 括弧内は前年度数値となります。

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A: 順調	B: 概ね順調	C: 要改善
1. 生活機能の強化に係る政策分野	17	8 (11)	9 (6)	0 (0)
医療	3	2	1	0
福祉	6	4	2	0
産業振興	6	0	6	0
文化	1	1	0	0
その他	1	1	0	0
2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	14	3 (3)	10 (9)	1 (2)
地域公共交通	9	0	8	1
道路等の交通インフラの整備	3	2	1	0
地域の生産者や消費者等の 地域連携による地産地消	2	1	1	0
3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	3 (2)	1 (1)	0 (0)
人材の育成等	4	3	1	0
合計	35	14 (16)	20 (16)	1 (2)

参考：視点毎の進捗評価グラフ

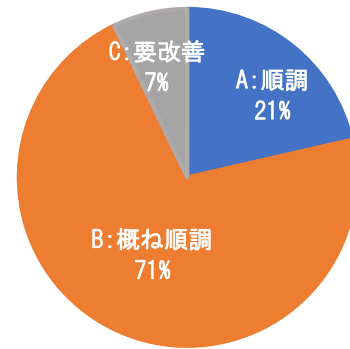
生活機能の強化

■A: 順調 ■B: 概ね順調 ■C: 要改善



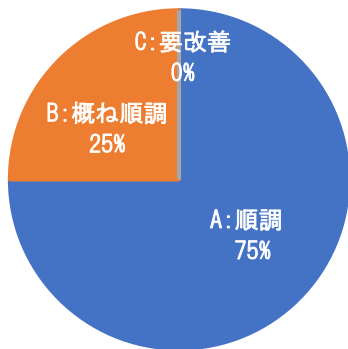
結びつきやネットワークの強化

■A: 順調 ■B: 概ね順調 ■C: 要改善



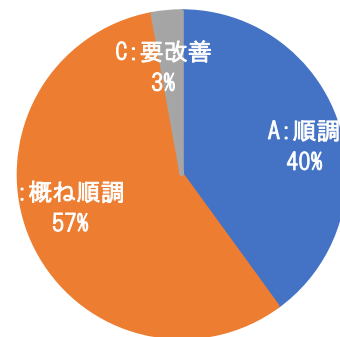
圏域マネジメント能力の強化

■A: 順調 ■B: 概ね順調 ■C: 要改善



全体

■A: 順調 ■B: 概ね順調 ■C: 要改善



3. 共生ビジョンに記載された各事業の実施状況について

1. 生活機能の強化に係る政策分野

■医療分野

分野基本目標 KPI

指標		救急車の適正利用率(救急搬送のうち軽症者を除く割合)			
基準値(H30)		60.10%	目標値(R6)		65.00%
実績 (年)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	62.00%	62.40%	62.00%	64.30%	

(ア)医療体制の充実

事業 No	1	事業名		救急医療対策事業(初期救急)		
取組内容	本庄市児玉郡医師会、歯科医師会と連携して圏域の休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保する。また、救急医療需要調査事業と併せて、平日夜間における初期救急医療体制の拡充に向けた検討を進める。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	12,321	2,737	2,862	5,519	23,439	
R4(予算)	12,293	2,748	2,863	5,535	23,439	
KPI 進捗状況	指標		平日夜間診療日数			
	基準値(H30)		49 日	目標値(R6)		50 日
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		51 日	49 日	49 日	48 日	
	R4 進捗状況					進捗評価
	休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保している。					A
今後の展開 課題等	休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保するため、引き続き本庄市児玉郡医師会、歯科医師会との連携を図っている。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

軽度・軽症患者を対象とした初期救急医療の対策として、本庄市児玉郡医師会、歯科医師会の協力のもと、休日急患診療所や在宅当番医等の運営経費に対して必要な財政的支援を行い、圏域住民に対する初期救急医療体制の確保・充実を図りました。

・休日急患診療業務事業

休日・祝日・年末年始 9 時～正午、13 時～16 時、19 時～22 時

平日木曜日夜間(H29.7 月開始) 20 時～22 時

・在宅当番医制運営事業

休日・祝日 9 時～正午 医師会による輪番 1 か所

・年末年始休日歯科診療業務委託

12 月 30 日～1 月 3 日 10 時～正午 歯科医師会による輪番 2 か所

・休日急患診療業務事業(R4.4～R4.12)

休日 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
52 日	647 人	56 人	34 人	197 人	78 人	1,012 人
1 日当り	12.4 人	1.1 人	0.7 人	3.8 人	1.5 人	19.5 人

平日夜間 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
36 日	27 人	1 人	2 人	12 人	4 人	46 人
1 日当り	0.8 人	0.1 人	0.1 人	0.3 人	0.1 人	1.3 人

・年末年始休日歯科診療業務委託(R4.12.30～R5.1.3)

診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
5 日	20 人	1 人	2 人	7 人	6 人	36 人
1 日当り	4 人	0.2 人	0.4 人	1.4 人	1.2 人	7.2 人

【参考】令和 3 年度実績

・休日急患診療業務事業(R3.4～R3.12)

休日 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
52 日	691 人	49 人	47 人	205 人	59 人	1,051 人
1 日当り	13.3 人	0.9 人	0.9 人	3.9 人	1.1 人	20.2 人

平日夜間 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
38 日	32 人	3 人	0 人	9 人	2 人	46 人
1 日当り	0.9 人	0.1 人	0 人	0.3 人	0.1 人	1.3 人

・年末年始休日歯科診療業務委託(R3.12.30～R4.1.3)

診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
5 日	20 人	3 人	5 人	6 人	4 人	38 人
1 日当り	4 人	0.6 人	1 人	1.2 人	0.8 人	7.6 人

事業 No	2		事業名	救急医療対策事業(第二次救急)		
取組内容	休日・夜間の第二次救急医療体制の確保を目的とした病院群輪番制病院の運営事業費補助などを実施する。また、群馬県内の医療機関との連携についても進める。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	38,680	5,265	5,709	13,088	62,742	
R4(予算)	40,793	5,510	5,859	13,161	65,323	
KPI 進捗状況	指標		後方支援病院			
	基準値(H30)		2 病院	目標値(R6)		2 病院
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2 病院	2 病院	2 病院	2 病院	
	R4 進捗状況					進捗評価
	病院群輪番制や小児の二次救急診療等の運営経費に対する財政的支援を行い、第二次救急医療体制の確保・充実に努めている。また、群馬県内の医療機関との連携も進めている。					A
今後の展開 課題等	県外小児救急医療後方支援病院における患者の受け入れ日は、群馬県の輪番体制により決まっているため、受け入れ日の減少が懸念される。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

入院や手術を必要とする第二次救急医療の対策として、病院群輪番制や小児の二次救急診療等の運営経費に対する財政的支援を行い、第二次救急医療体制の確保・充実に努めました。また、群馬県内の医療機関との連携も図りました。

・病院群輪番制病院運営事業

休日・祝日・年末年始の 8 時～18 時、全日の 18 時～翌 8 時 本庄市内 6 病院の輪番

・小児二次救急診療業務

休日・祝日・年末年始の 8 時～18 時、全日の 18 時～翌 8 時 県北 4 市 4 町を対象とし、深谷赤十字病院、熊谷総合病院、行田総合病院で実施

・医師派遣事業負担金補助

県立小児医療センター、埼玉医科大学の医師を深谷赤十字病院等へ派遣し、県北地域における小児二次救急の医療体制を確保

・県外小児救急医療後方支援 病院負担金補助

公立藤岡総合病院、伊勢崎市民病院への助成

【参考】令和 3 年度実績

・病院群輪番制病院運営事業(R3.4～R4.3)

輪番病院	受診者数	備考
本庄総合病院・岡病院・青木病院・ 鈴木外科病院・児玉中央病院・ 本庄駅前病院	2,383 人	居住地別集計データはなし

・小児二次救急診療業務(R3.4～R4.3)

受入病院	受診者数	備考
深谷赤十字病院・行田総合病院・ 熊谷総合病院	4,241 人	居住地別集計データはなし

事業 No	3		事業名	救急医療に関する啓発事業		
取組内容	救急医療に関する啓発用チラシの作成などにより、受診時の留意点等を周知し、救急医療の適正受診を呼びかける。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	0	0	0	182	182	
KPI 進捗状況	指標		救急車の適正利用率(救急搬送のうち軽症者を除く割合)			
	基準値(H30)		60.10%	目標値(R6)	65.00%	
	実績 (年)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		62.00%	62.40%	62.00%	64.30%	
	R4 進捗状況					進捗評価
	広報紙、HP等により適正受診を呼びかけている。					B
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、救急医療体制の確保が難しくなっている。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

かかりつけ医の重要性、休日急患診療所の案内、埼玉県の救急電話相談(＃7119)の利用方法、救急車の適正利用、児玉郡内の医療機関情報等について、保健師による家庭訪問や、各市町の広報紙等を活用してお知らせしました。今後も継続的に啓発事業を展開し、救急医療体制の確保を目指します。

■福祉

分野基本目標 KPI

指標		ハローワーク本庄管内障害者雇用率			
基準値(H30)		2.11%		目標値(R6)	2.3%
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	2.14%	2.24%	2.29%	2.32%	

(ア)障害福祉の充実

事業 No	4		事業名	障害者地域生活支援事業		
取組内容	社会福祉法人等と委託契約を締結し、圏域内に居住する障害児者を対象とした次の障害者地域生活支援事業を行う。 ・障害者相談支援事業・手話通訳者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業・障害者地域活動支援センター事業 ・障害者レクリエーション活動等支援事業					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	32,897	5,393	5,719	10,969	54,978	
R4(予算)	66,571	6,281	6,789	12,710	92,351	
KPI 進捗状況	指標		利用件数(相談件数・手話通訳者件数・活動支援件数) 利用者数(手話研修参加者数・レク利用人数)			
	基準値(H30)		19,842 件 511 人	目標値(R6)	22,000 件 550 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		19,327 件 522 人	11,725 件 175 人	11,783 件 274 人	10,372 件 229 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	新型コロナウイルス感染症対策を講じて事業は継続実施しており、手話派遣事業などで徐々に、利用実績が回復している。					B
今後の展開 課題等	感染症対策を講じて必要なサービスを提供できるよう事業を継続実施することが、地域の障害者政策を推進するために重要である。 地域の情報や課題を互いに共有しながら、事業所や関係機関と連携し、事業の充実に努めていく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

障害のある人が住み慣れた地域の中で自立した生活を送ることができるよう、次の事業を障害者生活支援事業者や関係市町と連携して実施しています。

・障害者相談支援事業(R4.4～R4.12)

障害者及びその家族などからの福祉サービスの利用、生活相談等に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行います。

相談支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
3,300 件	182 件	276 件	573 件	4,410 件

・手話通訳者派遣事業(R4.4～R4.12)

聴覚及び音声・言語障害者の日常生活及び社会生活におけるコミュニケーション手段を確保し、社会参加を促進します。

種別	手話通訳者件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
派遣	540 件	42 件	19 件	23 件	624 件
来所	256 件	45 件	6 件	20 件	327 件
計	796 件	87 件	25 件	43 件	951 件

・手話奉仕員養成研修事業(R4.4～R4.12)

聴覚及び音声・言語障害者の社会生活でのコミュニケーションを支援する手話奉仕員を養成するための講習会を実施します。

・障害者地域活動支援センター事業(R4.4～R4.12)

創作的な活動や生産活動、社会との交流促進など、障害者の地域活動の支援を行います。

活動支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
1,741 件	427 件	121 件	129 件	2,418 件

・障害者レクリエーション活動等支援事業(R4.4～R4.12)

スポーツレクリエーション活動を通じて、体力増強、交流、余暇活動の支援を行い、障害者スポーツを普及するため、各種スポーツレクリエーション教室を開催します。

利用人数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
181 人	0 人	7 人	21 人	209 人

【参考】令和 3 年度実績

・障害者相談支援事業(R3.4～R3.12)

相談支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
2,911 件	166 件	130 件	415 件	3,622 件

・手話通訳者派遣事業(R3.4～R3.12)

種別	手話通訳者件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
派遣	1,248 件	124 件	42 件	72 件	1,486 件
来所	221 件	32 件	8 件	26 件	287 件
計	1,469 件	156 件	50 件	98 件	1,773 件

・障害者地域活動支援センター事業(R3.4～R3.12)

活動支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
2,547 件	544 件	195 件	156 件	3,442 件

・障害者レクリエーション活動等支援事業(R3.4～R3.12)

利用人数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
206 人	1 人	0 人	52 人	259 人

事業 No	5		事業名	障害者就労支援センター事業		
取組内容	就労支援事業者と委託契約を締結し、圏域内に居住する障害者を対象とした就労支援(企業開拓、生活支援、定着支援等)を行うとともに、圏域の就労支援ネットワークを構築する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	9,457	1,394	1,801	3,548	16,200	
R4(予算)	9,346	1,385	1,762	3,527	16,020	
KPI 進捗状況	指標		ハローワーク本庄管内障害者雇用率			
	基準値(H30)		2.11%	目標値(R6)		2.3%
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2.14%	2.24%	2.29%	2.32%	
	R4 進捗状況					進捗評価
	ハローワーク本庄管内の雇用率は、障害者雇用促進法の改正もあり、上昇している。新型コロナウイルスの影響は今後の雇用率に反映される可能性がある。					A
今後の展開 課題等	今後も安定して、また効率的に事業を実施することが、地域の障害者政策を推進するために重要なことである。 常に情報や課題を共有しながら、事業所とも連携を取り合い、事業の充実に努めていく。第 6 期障害福祉計画に盛り込んだ事業の実現に向けて取り組む。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

障害者の就労機会の拡大を図り、自立と社会参加の促進に寄与するため、NPO法人に委託して障害のある人を対象とした就労支援（企業開拓、生活支援、定着支援）を行っています。圏域で就労支援センターを共同設置することにより、情報の一元化が図られ、ハローワークや企業との連携ネットワークが構築されてきており、1 年当たりの就労定着率が埼玉県内 41 センター中 6 位（R2 年 11 月現在）と、県内でも上位の就労実績をあげています。

・障害者就労支援センター事業(R4.4～R4.12)

支援内容	支援件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
就労支援	3,441 件	142 件	648 件	1,488 件	5,719 件
生活支援	416 件	19 件	72 件	210 件	717 件
計	3,857 件	161 件	720 件	1,698 件	6,436 件

【参考】令和 3 年度実績

・障害者就労支援センター事業(R3.4～R3.12)

支援内容	支援件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
就労支援	3,699 件	277 件	556 件	1,340 件	5,872 件
生活支援	506 件	25 件	93 件	225 件	849 件
計	4,205 件	302 件	649 件	1,565 件	6,721 件

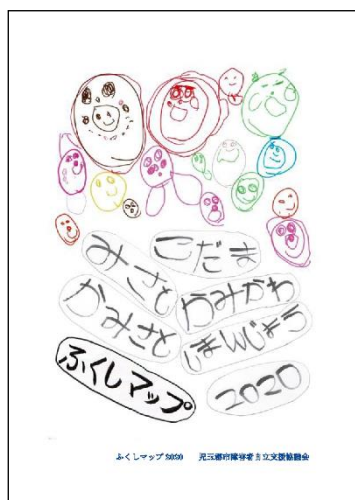
事業 No	6		事業名	児玉郡市障害者自立支援協議会		
取組内容	児玉郡市障害者自立支援協議会を設置し、当事者、市民、事業者、行政等の関係機関が連携して各種課題の解決を目指した協議を行う。 圏域における障害者福祉施策を地域全体で考える核となる協議会を目指す。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	5	5	5	5	20	
R4(予算)	5	5	5	5	20	
KPI 進捗状況	指標		参加機関数			
	基準値(H30)		39 機関	目標値(R6)	55 機関	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		39 機関	41 機関	43 機関	45 機関	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	新型コロナウイルス感染症対策を講じて一部 web を取り入れながら会議を開催しています。地域の課題解決に向けて各部会で検討を進めている。新たな部会の立ち上げの準備に向けた放課後等デイサービス連絡会も実施を予定している。				A	
今後の展開 課題等	運営会議、二つの専門部会の活動が充実し、それに伴って地域の核となる支援者の連携が強化されている。地域における課題の整理や資源の有効活用など、さまざまな場面において、協議会の協力が不可欠なものになってきている。 今後は、精神障害に対応した地域包括ケアシステムや医療的ケア児等とその家族に対する支援、専門部会の充実(たとえば子ども部会、地域移行部会)について検討していく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

自立支援協議会は、全体会、運営委員会、専門部会（相談支援・就労支援）の3部構成とし、運営委員会では、協議会全体の調整を行いながら、地域の社会資源を紹介する「ふくしマップ」を年1回作成しています。相談支援部会は、地域内の指定特定相談支援事業所の参加を得て、社会資源の情報共有や施設見学、関係機関との意見交換等を行っています。また、就労支援部会では、就労施設の情報交換、関係機関との意見交換、直Bアセスメント方法の調整等を行っています。

協議会により地域における支援のネットワークが形成され、連携の強化及び相談支援体制の強化につながる活動を行っています。

ふくしまマップ表紙



ふくしまマップ内容例

1. 神楽坂の音楽家達に会ったとき - 江戸 - 歌	714
2. 芝居町に会ったとき - 江戸 - 歌	715
3. 江戸に音楽家達に会ったとき - 江戸 - 歌	716
4. 音楽家の江戸	717
5. ヌメノミナト歌謡	718
6. 江戸の音楽家達	719
7. 江戸の音楽家達	720
8. 江戸の音楽家達	721
9. 江戸の音楽家達	722
10. 江戸の音楽家達	723
11. 江戸の音楽家達	724
12. 江戸の音楽家達	725
13. 江戸の音楽家達	726
14. 江戸の音楽家達	727
15. 江戸の音楽家達	728
16. 江戸の音楽家達	729
17. 江戸の音楽家達	730
18. 江戸の音楽家達	731
19. 江戸の音楽家達	732
20. 江戸の音楽家達	733
21. 江戸の音楽家達	734
22. 江戸の音楽家達	735
23. 江戸の音楽家達	736
24. 江戸の音楽家達	737
25. 江戸の音楽家達	738
26. 江戸の音楽家達	739
27. 江戸の音楽家達	740
28. 江戸の音楽家達	741
29. 江戸の音楽家達	742
30. 江戸の音楽家達	743
31. 江戸の音楽家達	744
32. 江戸の音楽家達	745
33. 江戸の音楽家達	746
34. 江戸の音楽家達	747
35. 江戸の音楽家達	748
36. 江戸の音楽家達	749
37. 江戸の音楽家達	750
38. 江戸の音楽家達	751
39. 江戸の音楽家達	752
40. 江戸の音楽家達	753
41. 江戸の音楽家達	754
42. 江戸の音楽家達	755
43. 江戸の音楽家達	756
44. 江戸の音楽家達	757
45. 江戸の音楽家達	758
46. 江戸の音楽家達	759
47. 江戸の音楽家達	760
48. 江戸の音楽家達	761
49. 江戸の音楽家達	762
50. 江戸の音楽家達	763
51. 江戸の音楽家達	764
52. 江戸の音楽家達	765
53. 江戸の音楽家達	766
54. 江戸の音楽家達	767
55. 江戸の音楽家達	768
56. 江戸の音楽家達	769
57. 江戸の音楽家達	770
58. 江戸の音楽家達	771
59. 江戸の音楽家達	772
60. 江戸の音楽家達	773
61. 江戸の音楽家達	774
62. 江戸の音楽家達	775
63. 江戸の音楽家達	776
64. 江戸の音楽家達	777
65. 江戸の音楽家達	778
66. 江戸の音楽家達	779
67. 江戸の音楽家達	780
68. 江戸の音楽家達	781
69. 江戸の音楽家達	782
70. 江戸の音楽家達	783
71. 江戸の音楽家達	784
72. 江戸の音楽家達	785
73. 江戸の音楽家達	786
74. 江戸の音楽家達	787
75. 江戸の音楽家達	788
76. 江戸の音楽家達	789
77. 江戸の音楽家達	790
78. 江戸の音楽家達	791
79. 江戸の音楽家達	792
80. 江戸の音楽家達	793
81. 江戸の音楽家達	794
82. 江戸の音楽家達	795
83. 江戸の音楽家達	796
84. 江戸の音楽家達	797
85. 江戸の音楽家達	798
86. 江戸の音楽家達	799
87. 江戸の音楽家達	800
88. 江戸の音楽家達	801
89. 江戸の音楽家達	802
90. 江戸の音楽家達	803
91. 江戸の音楽家達	804
92. 江戸の音楽家達	805
93. 江戸の音楽家達	806
94. 江戸の音楽家達	807
95. 江戸の音楽家達	808
96. 江戸の音楽家達	809
97. 江戸の音楽家達	810
98. 江戸の音楽家達	811
99. 江戸の音楽家達	812
100. 江戸の音楽家達	813

[illegible]

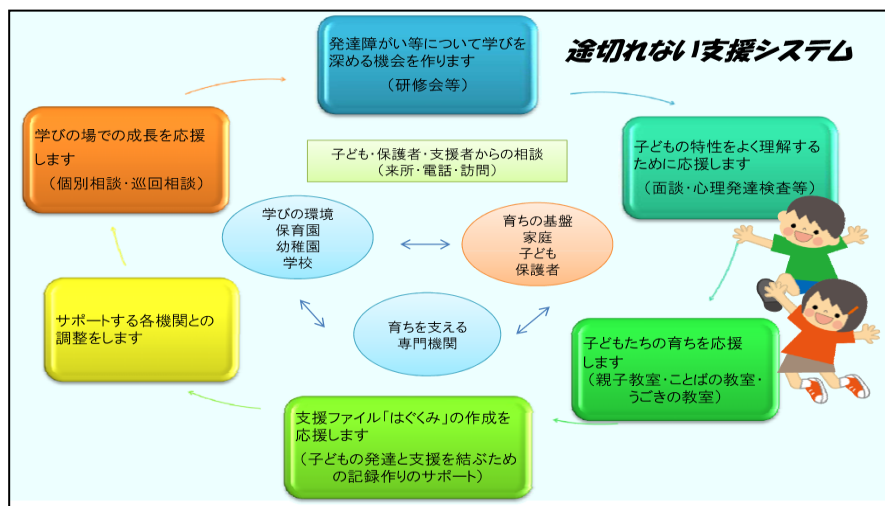
(イ)発達障害児への支援体制の充実

事業 No	7	事業名	発達障害支援事業			
取組内容	発達に何らかの支援を要する子どもたちを早期に発見し、特性に応じた適切な支援を継続的に行うため、関係市町職員の専門性の向上を図る。 ・研修事業 ・関係機関との情報交換					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	13,727	0	0	0	13,727	
R4(予算)	14,907	0	0	0	14,907	
KPI 進捗状況	指標		研修等の回数			
	基準値(H30)		2 回	目標値(R6)	4 回	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		1回	1 回	1回	1回	
	R4 進捗状況					進捗評価
	本庄市では市内小学校研修や職員研修として子どもの発達に関する研修会を複数回実施している。 各町において研修会の実施はないが、本庄市において開催した研修会の資料を各町の担当者へ配付し、情報交換や関係職員の専門性の向上に向けての取り組みとした(1回)。					B
	今後の展開 課題等	来年度においても、対面もしくは動画配信による講演会の開催、研修会の資料配付等を検討している。				

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

発達障害等で、支援が必要な子どもや家族・支援者に対し、相談・巡回支援・療育的指導等の実施のほか、研修会の開催等により、発達障害の理解を深め、発達障害を持つ子どもたちの支援環境の充実を図るための取組を行っています。

これらの事業の充実と発達障害児への継続的支援体制を築くために、各市町の現状把握、課題分析、今後の取組について検討を進めています。



本庄市発達教育支援センター「すきっぷ」

【事業実施状況】令和 4 年度（見込み）

- さくらんぼ教室（個別支援） 実施回数 47 回 参加実人数 350 人 延人数 440 人
- 訪問（個別支援） 延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校・その他〕100 回
実人数 800 人 延人数 1,000 人
- 訪問（クラス単位の支援）延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校〕70 回 延 7,000 人
- 事例検討会 実施回数 11 回 参加実人数 10 人 延人数 11 人
（参加者：教頭、コーディネーター、学年主任、担任、生徒指導担当等）
- 研修会〔学校・保育所（園）・幼稚園職員・市民・職員研修〕 実施回数 6 回 参加延人数 65 人

【参考】令和 3 年度実績

【事業実施状況】令和 3 年度

- さくらんぼ教室（個別支援） 実施回数 46 回 参加実人数 350 人 延人数 496 人
- 訪問（個別支援） 延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校・その他〕99 回
実人数 786 人 延人数 983 人
- 訪問（クラス単位の支援）延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校〕77 回 延 7,745 人
- 事例検討会 実施回数 12 回 参加実人数 13 人 延人数 13 人
（参加者：教頭、コーディネーター、学年主任、担任、生徒指導担当等）
- 研修会〔学校・保育所（園）・幼稚園職員・市民研修〕 実施回数 4 回 参加延人数 89 人

事業 No	8	事業名	本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進事業			
取組内容	本庄市児玉郡医師会と業務委託契約締結及び関係団体と連携して圏域の医療・介護の一体的な提供体制を構築する。					
	・地域の医療・介護の資源の把握					
	・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討					
	・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進					
	・医療・介護関係者の情報共有の支援					
	・在宅医療・介護連携に関する相談支援					
	・医療・介護関係者の研修					
	・地域住民への普及啓発					
	・在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	3,369	990	1,066	1,608	7,033	
R4(予算)	3,267	949	1,034	1,569	6,819	
KPI 進捗状況	指標		医療・介護連携に関する会議開催回数			
	基準値(H30)		6 回		目標値(R6)	6 回
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		15 回	13 回	13 回	22 回	
	R4 進捗状況					進捗評価
	従来からの取組内容8項目を勘案しつつ、R3 年度より 3 か年の重点的取組とした「入退院支援」を今年度も継続しました。また、前年度から取り組んでいた入退院支援「アセスメントシート」の検討やアンケート等による課題分析の他、研修会や意見交換会を開催し、関係機関や専門職の連携体制強化を図りました。					A
	今後の展開 課題等	在宅医療連携拠点との委託事業や協同事業を継続的に実施し、在宅医療・介護連携を推進します。				

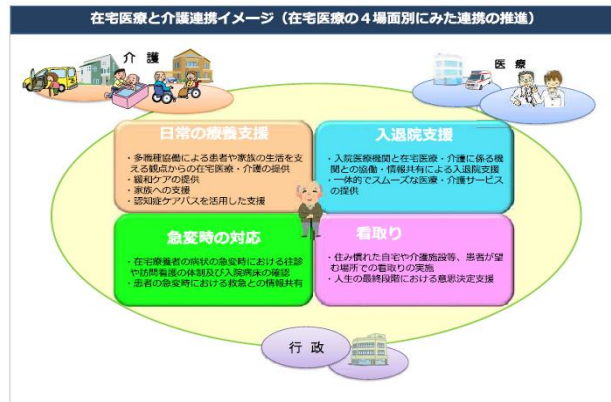
【令和4年度の取組状況(見込み)】

- ・在宅医療・介護連携推進協議会2回(見込み)
- ・在宅医療・介護連携推進事業担当課長会議2回
- ・在宅医療・介護連携推進事業担当者会議18回(見込み)

このほか、

- ・医療・介護の地域資源について一覧表の更新
- ・「人生会議(ACP)」について1市3町で同時期に広報掲載
- ・わたしの連絡先カードの周知及び配布(1市3町統一)
- ・入退院調整ルールについてアンケートでの課題分析
- ・入退院調整ルールの更新のための調査
- ・医療・介護連携を推進するための研修会
- ・入退院支援「アセスメントシート」の検討
- ・人生会議出前講座を本庄市児玉郡医師会の協力により、開催予定
- ・協議会及び担当者会議に本庄保健所職員にも出席いただき、圏域の連携推進体制の構築を図っています。

図4 8つの事業項目の見直しイメージ(介護保険法施行規則改正イメージ)



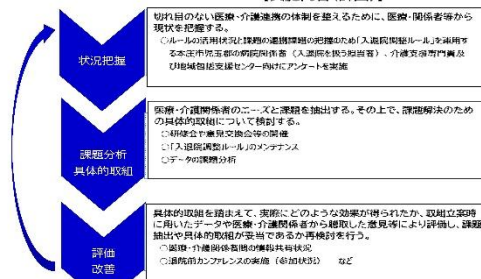
重点取組内容 入退院支援

資料 3

【地域が目指すべき姿(目標)】
【大目標】 入退院に医療・介護関係者が協働し、情報共有を行うことで、本人が希望するところに入退院し、支援を受けながら再発や再入院の低化が予想でき、また、終末期においては安心して生活ができる。

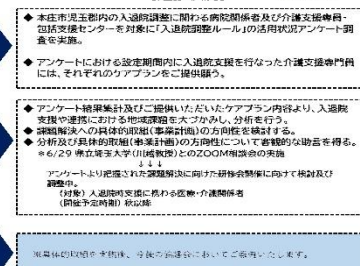
【小目標】 (1) 退院時から、本人・家族と医療・介護関係者が、協働・情報共有できる連携体制を構築できる。
 (2) 医療・介護関係者間で、本人・家族の思いや希望を把握した上で、退院後の生活支援についてイメージできる。
 (3) 医療・介護関係者間で治療方針やケア方針を共有でき、ケアプランに反映し、退院に向けて必要な支援を調整できる。

【実施内容(計画)】



【進捗状況】

※ R3.7.16現在



(エ)地域密着型サービスの相互利用支援

事業 No	9	事業名		地域密着型通所介護の指定手続きの簡素化事業		
取組内容	圏域内の自治体間の手続を簡素化することを目的に、圏域内で「地域密着型通所介護の指定同意に関する協定(仮称)」の締結を目指す。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	—	—	—	—	—	
R4(予算)	—	—	—	—	—	
KPI 進捗状況	指標		協定締結自治体数			
	基準値(R2)		0 自治体	目標値(R6)	4 自治体	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		—	0 自治体	4 自治体	4 自治体	
	R4 進捗状況					進捗評価
	令和 5 年 4 月 1 日運用開始に向け居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業者への周知を行った。					A
今後の展開 課題等	令和 5 年 4 月 1 日運用開始					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

12 月：周知状況を確認しました。

■産業振興

分野基本目標 KPI

指標		新規就農者数			
基準値(H30)		21 人		目標値(R6)	25 人
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	20 人	16 人	13 人	13 人	

(ア)農業の振興

事業 No	10		事業名	担い手育成支援事業		
取組内容	児玉地域担い手育成総合支援協議会をはじめとする各種団体に対し、財政支援、事業の運営支援、研修会等の情報提供等の支援を行う。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	20	10	10	10	50	
R4(予算)	20	10	10	10	50	
KPI 進捗状況	指標		新規就農相談者数			
	基準値(H30)		33 人	目標値(R6)		25 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		20 人	18 人	31 人	26 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	全体の見込み件数は減少したものの、前年度を上回る市町もあり、継続していくことにより分野基本目標 KPI 達成につながるものと思慮される。					B
今後の展開 課題等	・新規就農者の継続的な確保 ・圏域外への情報発信 ・外国人就農希望者へのサポート					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

児玉地域担い手育成総合支援協議会等の農業関係団体への補助金支出などを通じ、活動支援を行いました。

児玉地域担い手育成総合支援協議会では、農業の担い手塾事業を実施して新規就農者の育成に取り組んでいます。その他、比較的若手の農業従事者で構成される農業青年会議所では、春まつり等の各種イベントで、地元農産物の即売会を実施しています。

また、国の補助金を活用した新規就農者に対する支援を行い、担い手確保・育成に向けた取組を推進しています。

新規就農案内



事業 No	11	事業名	就農等に関する情報の相互提供事業			
取組内容	遊休農地や農業研修などの就農等に関する情報を関係市町で共有化する仕組みを整備するとともに、農業後継者や新規就農者等に各種情報を提供する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	0	0	0	0	0	
KPI 進捗状況	指標		新規就農希望者への情報提供回数			
	基準値(H30)		23 回	目標値(R6)		21 回
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		20 回	23 回	28 回	23 回	
	R4 進捗状況					進捗評価
	全体の回数は減少したものの、前年度を上回る市町もあり、継続していくことにより分野基本目標 KPI 達成につながるものと思慮される。					B
今後の展開 課題等	・圏域外への情報発信を行う。 ・コロナ禍を踏まえた情報提供方法を工夫する。 ・外国人就農希望者へのサポートを行う。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

農地情報や農業研修などの就農等に関する情報を関係市町で共有化する仕組みの整備を進めています。4 市町(他、埼玉県本庄農林振興センター)からも就農に関する情報等を収集し、各市町の農政担当窓口やHPにおいて、希望者に就農等に関する情報の提供を行いました。本庄市では、平成 28 年 12 月作成の「新規就農希望者向けパンフレット」を活用し、相談会やイベントなどの場で情報提供を行っています。

新規就農希望者
向けパンフレット



分野基本目標 KPI

指標		観光入込客数			
基準値(H30))		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3(見込み)	R4(見込み)	R5
	2,837,374 人	2,070,524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	

(イ)観光の振興

事業 No	12	事業名	本庄地域広域観光振興協議会の運営			
取組内容	広域的な観光事業を進めるために協議会を運営し、圏域内の連絡調整を図ると共に、効果的な観光事業を研究する。また、広報宣伝及び催事等の連携を推進する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	81	11	14	31	137	
R4(予算)	81	11	14	31	137	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントや祭りの開催中止や規模縮小、店舗の時短営業等があり、観光入込客数に影響を及ぼしている。				B	
今後の展開 課題等	各市町の観光資源の広域的な課題等を共有しながら、圏域内の連携をさらに図る必要がある。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

本庄地域広域観光振興協議会では、本庄・児玉地域観光戦略を踏まえた広域的な観光振興を図る事業の実施に向け活動しました。

各地域のイベント情報や観光情報を本庄地域広域観光振興協議会のフェイスブックページ「ほんたま観光ガイドマップ」で公開し、圏域内の観光PRに努めました。

また、新幹線本庄早稲田駅構内多目的スペースの圏域内を紹介する「彩北未来空間」において、地域の観光情報の発信を行っています。

今後も圏域内の連携を推進し、効果的な観光事業を研究・計画します。

広域観光フェイスブックページ
『ほんたま観光ガイドマップ』



事業 No	13	事業名	広域観光推進事業			
取組内容	圏域内の観光資源の魅力や多様性を活かした広域的な観光振興を図るため、本庄地域広域観光振興協議会を中心として次の事業を実施する。 ・観光情報共有化事業 ・観光ルート推進事業 ・合同観光キャンペーン事業 ・地域特産品開発事業					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	264	838	0	1180	2282	
R4(予算)	2649	1737	707	4164	9257	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)		2,950,369 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、イベントや祭りの開催中止や規模縮小、店舗の時短営業等があり、観光入込客数に影響を及ぼしている。				B	
今後の展開 課題等	各市町の観光資源の広域的な課題等を共有しながら、圏域内の連携をさらに図る必要がある。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

圏域内の観光資源の多様性を活かした広域的な観光振興を図るため、観光情報共有化事業、観光ルート推進事業、地域特産品開発事業を行いました。

また、令和4年11月に上里サービスエリアにて行われた、「巨大人生ゲームで渋沢栄一を学ぼう!」に参加し、合同観光キャンペーン事業としてブースの設置及び圏域市町マスコットキャラクターと共に観光パンフレット等の配布を行い、観光PRを実施しました。

今後、4市町のパンフレット等を1つにまとめて渡せるよう、手提げ袋を作成する予定です。

合同観光キャンペーン



事業 No	14	事業名	上里サービスエリア周辺地区活性化事業			
取組内容	上里サービスエリア、上里スマートインターチェンジを活用した観光資源の開発により圏域内の産業振興及び産業振興に係るネットワーク形成を図るため、上里サービスエリア周辺地区の整備及び当該地区へ接続するアクセス道路等の整備を行う。 ・上里サービスエリア周辺地区の公園ゾーンの整備 ・上里サービスエリア周辺地区の農業体験ゾーンの整備 ・上里サービスエリア周辺地区の水辺ゾーンの検討 ・上里サービスエリア周辺地区への道路網（アクセス道路等）の整備					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	23,612	23,612	
R4(予算)	0	0	0	12,564	12,564	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	公園ゾーンについては、令和 3 年度にオープンとなった「このはな芝生広場」のベンチ等を設置するなど、来訪者が寛げる空間の整備や既存の観光看板の内容更新を実施。また、広場において観光・物産イベントを実施した。農業体験ゾーンの田んぼオーナー事業では、首都圏内外からの応募があった。道路整備については、神流リバーサイドロードの整備が順調に進められている。				B	
今後の展開 課題等	神川町や群馬県藤岡市方面からのアクセス性を高めるとともに、産業の発展に向けた物流効率性を高めるため、神流リバーサイドロードの整備を引き続き実施する。令和 5 年度については 310m 工事を発注する予定であり、早期完成を目指す。また、河川敷を活用した「水辺ゾーン」の整備に向け関係機関等と必要な調整を行う。併せて、圏域内からの利用者も想定した駐車場の拡充についても、引き続き検討を行う。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

公園ゾーンについては、「このはな芝生広場」を令和 3 年 10 月にオープンし、令和 4 年度は休憩施設としてベンチ、縁台の設置、安全施設として外周にフェンスを設置した。また、広場内にある2基の観光看板について内容を更新する。同広場において、『このはなパーク上里』(上里SA周辺地域)の進出企業三者と連携し、「観光・物産PRイベント」を実施。その他、上里SA(下り線)及び、『このはなパーク上里』にて観光・物産イベントを同時開催し、町内周遊を促進する取り組みを実施した。

農業体験ゾーンでは、田んぼオーナー事業(令和 2 年度開始事業)の募集枠を前年度より7枠増設(計 27 枠)した。県内をはじめ首都圏、山形県の方がオーナーとなっている。また、田んぼオーナーを対象に野菜収穫体験(年数回)も実施している。

道路網整備については、神流リバーサイドロードの用地買収及び工事を 630m 発注。

事業 No	15	事業名	自転車利活用推進事業			
取組内容	起伏に富んだ地形をもち、多くの名跡を抱える圏域において、観光客や地域への滞在者等の交流人口の増加を目的とし、自転車を活用したサイクルツーリズムを推進し、関係事業を実施する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	0	0	0	0	0	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2, 837, 374 人	2, 070, 524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	圏域内における自転車利活用の更なる推進に向け、サイクルマップを配布した。				B	
今後の展開 課題等	作成したサイクルマップの普及を図るとともに、イベント等の事業を模索していく必要がある。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

令和 2 年度に作成した「本庄地域定住自立圏サイクリングガイドブック デイトリップ by ペダル」を圏域内各所に配布し、マップの普及に努めた。また、圏域外からの新規サイクリスト開拓に向け、さいたま市で開催された「サイクルフェスタ」においてマップを配布した。マップ策定に併せて設置したサイクルラックについても引き続きサイクリストに利用いただいて

おり、サイクリストの利便性向上に繋がっている



■ 文化

分野基本目標 KPI

指標		開催期間における入場者数			
基準値(R2)		6,563 人	目標値(R6)	1,000 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	—	6,563	3,000	3,000	

(ア)文化財の保護・利活用の推進

事業 No	16	事業名	本庄早稲田の杜ミュージアム事業			
取組内容	本庄早稲田の杜ミュージアム事業の一環として、関係市町と協同して出土文化財を活用した「本庄早稲田の杜地域連携展覧会」を実施する。 「連携展」は、平成 26 年度から平成 29 年度まで 4 回の実績があるが、これを引き継ぎ、本庄早稲田の杜ミュージアムの企画展として開催する。具体的には、関係市町が収蔵する未活用の資料を集成・展示し、地域の時代像を明示して、広く一般に公開するとともに、公開講座、展示解説、体験講座等を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	746	0	0	0	746	
R4(予算)	978	0	0	0	978	
KPI 進捗状況	指標		開催期間における入場者数			
	基準値 (R2 実績値見込)		6,563 人	目標値(R6) 1,000 人		
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		—	6,563 人	2,660 人	3,000 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	「児玉・深谷地域の古墳と副葬品」と題した展覧会を 1/14～3/26 に開催。関連事業として公開講座(2 回)を開催。					A
今後の展開 課題等	今後も継続して展覧会を実施する。これまで関連事業として講演会等を開催しているが、展示資料を解説するガイドツアーやワークショップの開催など展覧会をより幅広い層の方に楽しんでもらえる事業を検討したい。また、設定するテーマや展示資料についても、考古以外の資料を公開する機会を設けられるよう検討していきたい。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

タイトル	本庄早稲田の杜ミュージアム企画展／第3回本庄早稲田の杜地域連携展覧会 『児玉・深谷地域の古墳と副葬品』		
会 期	令和5年1月14日(土)～3月26日(日)		
会 場	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 2階情報資料室		
開館時間	午前9時～午後4時30分		
休 館 日	月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)	入 館 料	無料
概 要	児玉・深谷地域は、埼玉県内でも有数の古墳密集地帯として知られている。これまでに行われてきた分布調査や発掘調査で確認された古墳の数はおよそ1800基に及び、古墳の内部や墳丘周辺で検出される埋葬施設からは、銅や鉄でつくられた武器・武具や馬具、鉄製の農工具、石製・ガラス製の装飾品などさまざまな副葬品が発見されている。 今回の展示では、児玉・深谷地域の代表的な古墳出土遺物を集成し、副葬品によって表象される古墳被葬者たちの社会的な地位や役割について考える。		
公開講座	第1回 令和5年3月4日(土) 「児玉・深谷地域における古墳埋葬施設の構造と変遷」 講師 金子 彰男 氏(神川町教育委員会) 第2回 令和5年3月18日(土) 「美里町神明ヶ谷戸遺跡の調査と児玉・深谷地域の前期古墳」 講師 坂本 和俊 氏(元本庄高等学校教諭) (第1回・第2回共通) 講演時間 午後1時30分～3時(開場 午後1時) 会 場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 3階レクチャールーム1 対 象 どなたでも 定 員 50名 費 用 無料		

ポスター



■その他

分野基本目標 KPI

指標		圏域内消費生活センター利用件数			
基準値(H30)		443 件		目標値(R6)	550 件
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	425 件	409 件	357 件	402 件	

(ア)消費生活相談体制等の充実

事業 No	17	事業名	消費生活センター相互利用事業			
取組内容	本庄市及び上里町に消費生活相談員を配置し、消費生活センターを設置する。圏域の住民を対象とした消費生活相談を実施し、消費生活相談体制の充実を図る。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	2,978	0	0	1,099	4,077	
R4(予算)	3,114	0	0	1,062	4,176	
KPI 進捗状況	指標		救済率			
	基準値(H30))		99%	目標値(R6)	100%	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		100%	99%	99%	99%	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	前年同様、本庄市及び上里町の相談窓口を相互利用できるようにしました。長期的な対応が必要な消費生活相談は、相談者の体力的、精神的な負担になりますが、消費生活相談員からの助言、関係機関への斡旋等を行う中で、相談者の救済を図りました。				A	
今後の展開 課題等	消費者トラブルは複雑化かつ多様化しており、消費者被害の手口は年々、悪質化、巧妙化しています。そのため引き続き、現在の相談体制を維持していき、また相談窓口の相互利用の活用を推進することにより、消費者被害の早期発見や拡大防止に繋げ、被害の縮小や救済を図っていきたいと考えております。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

本庄市と上里町に消費生活相談員を配置し、圏域の住民を対象とした消費生活相談を実施しています。

本庄市と上里町において週 5 日体制の相談対応を行っており、郡内で相談窓口の相互利用が可能となっています。

本庄市及び上里町における相談件数は、前年度より増加傾向にあります。また、複雑で多様な相談に対応するため、今後も引き続き充実した相談体制が必要と見込まれます。

・消費生活相談件数(R4.4～R4.12)

実施場所	相談日	相談件数(居住地別)				
		本庄市	美里町	神川町	上里町	計
本庄市	月・水・木・金	172 件	27 件	9 件	15 件	223 件
上里町	火・金	16 件	3 件	11 件	47 件	77 件

【参考】令和 3 年度実績

・消費生活相談件数(R3.4～R3.12)

実施場所	相談日	相談件数(居住地別)				
		本庄市	美里町	神川町	上里町	計
本庄市	月・水・木・金	145 件	13 件	14 件	22 件	194 件
上里町	火・金	13 件	5 件	12 件	43 件	73 件

電話による相談



2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 地域公共交通

分野基本目標 KPI

指標		圏域内公共交通事業総利用者数 (JR 及び十王自動車バス利用者数を除く)			
基準値(H30)		455,255 人	目標値(R6)	488,772 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	475,935 人	354,800 人	406,931 人	418,328 人	

(ア) 公共交通サービスの確保と公共交通ネットワークの構築

事業 No	18	事業名	生活バス路線運行支援事業 (本庄駅～寄居車庫線)			
取組内容	JR本庄駅から美里町を経由してJR寄居駅を結ぶバス路線を維持・確保するため、バス会社に必要な支援を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	2,600	2,600			5,200	
R4(予算)	2,600	2,600			5,200	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		11,603 人	目標値(R6)		12,299 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		13,605 人	8,375 人	9,226 人	10,445 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	関係市町等で組織する県北都市間路線バス維持対策協議会の事業推進に努め、バス会社に必要な支援を行った。本路線が維持されたため、本庄市や美里町住民の通勤、通学及び通院等の利便性が確保された。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B

今後の展開 課題等	利用者の減少や人件費の増加等による経費の拡大が考えられるため、利便性の向上や利用者確保を目指し、運行手法について検討を続ける必要がある。 車両減価償却費は、令和 4 年度で償却期間が終了するため、令和 5 年度の負担金は減少する見込みである。
----------------------	---

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

JR本庄駅～美里町経由～JR寄居駅を結ぶバス路線を維持・確保するため、県北都市間路線バス維持対策協議会を通じて支援を行い、通勤・通学や通院等の利便性の向上を図った。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込む予定である。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～寄居車庫	年中無休	有料	7,692 人	28.0 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～寄居車庫	年中無休	有料	7,081 人	25.7 人

事業 No	19	事業名	生活バス路線運行支援事業 (①本庄駅～赤城乳業千本さくら工場線) (②本庄駅～神泉総合支所線)			
取組内容	JR本庄駅と児玉地域及びJR本庄駅と上里町を經由して神川町を結ぶバス路線を維持・確保するため、バス会社に必要な支援を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	28,500		4,806	1,888	35,194	
R4(予算)	18,030		2,694	2,549	23,273	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		①250,102 人 ②142,153 人	目標値(R6)	①265,108 人 ②150,682 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		①262,923 人 ②148,609 人	①182,736 人 ②127,235 人	①207,172 人 ②148,019 人	①211,741 人 ②148,680 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	関係機関と調整を行い、関係市町が共同してバス会社と運行協定を締結し、負担割合に応じて補助金を交付した。また、今後も本路線を維持、確保するため、バス会社に必要な費用負担や関係機関との調整に努める。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。				B	
今後の展開 課題等	収入の減少や車両の老朽化等による経費の拡大が考えられるため、利便性の向上や利用者確保を目指し、運行手法について検討を続ける必要がある。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

JR本庄駅～児玉地域(児玉線)、JR本庄駅～上里町経由～神川町(神泉線)を結ぶバス路線を維持・確保するための支援を行い、通勤・通学や通院等の利便性の向上を図った。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込む予定である。

また、児玉線は、(新生)児玉高校の開校に合わせ、令和 5 年 4 月から路線延長するための作業を進めている。神泉線も、神泉総合支所の移転に合わせ、令和 5 年 4 月から路線延長するための作業を進めている。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～児玉折返場(～赤城乳業千本さくら工場)	年中無休	有料	141,714 人	580.8 人
本庄駅～神泉総合支所	年中無休	有料	99,121 人	406.2 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～児玉折返場(～赤城乳業千本さくら工場)	年中無休	有料	158,859 人	577.7 人
本庄駅～神泉総合支所	年中無休	有料	111,538 人	405.6 人

事業 No	20	事業名		町営バス運行事業(阿久原線・矢納線)		
取組内容	神泉総合支所から藤岡市鬼石地区を結ぶバス路線(阿久原線)及び藤岡市鬼石地区から冬桜の宿神泉を結ぶバス路線(矢納線)を運行する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)			9,426		9,426	
R4(予算)			10,464		10,464	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		1,778 人	目標値(R6)	2,000 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		1,671 人	1,130 人	1,076 人	1,016 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	運行業務に関して委託契約を結び、適正な運行が維持できるよう努めた。地域住民及び観光客の利便性の向上を図った。				B	
今後の展開 課題等	過疎化の進行に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあってか利用客が減少している。観光資源の掘り起こしや魅力アップ事業と連携しながら利用客確保に努めていく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

神泉総合支所から藤岡市鬼石地区を結ぶバス路線(阿久原線)及び藤岡市鬼石地区から冬桜の宿神泉を結ぶバス路線(矢納線)の運行を行い、矢納、阿久原地域の高齢者等の通院、買い物及び児童生徒の通学等の利便性の向上を図った。

神川町は、持続可能な公共交通ネットワークの形成や住民生活の更なる快適化等を目指し、令和 5 年 3 月に「神川町地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する町民アンケート等の結果に基づき、町営バス路線の利便性向上策として、地域の実情に応じた適切な運行見直しや利用率及び収益の向上等について検討することを盛り込む予定である。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
神川町町営バス	運休: 1月1～3日	有料	856人	3人

【参考】令和3年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
神川町町営バス	運休: 1月1～3日	有料	901人	3人

事業 No	21	事業名	本庄市デマンド交通運行事業			
取組内容	平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年10月から新しい市内公共交通サービスとしてデマンド交通の運行を開始した。 本庄市内を「本庄北」「本庄南」「児玉市街地」「児玉山間地域」の4区域に分け、利用者の予約に基づき区域内の停留所間を各1台の車両が年末年始・日曜・休日を除いた午前 8 時から午後 5 時まで運行する。 現在は、市内に 400 箇所以上の停留所を設置しており、乗り継ぎを行うことにより、デマンド交通で市内の移動が可能となっている。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	20,523				20,523	
R4(予算)	23,458				23,458	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		12,165 人	目標値(R6)		13,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		11,665 人	9,129 人	10,396 人	11,029 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	デマンド交通・、民間路線バス・シャトル便が連携し、快適に市内を移動できる公共交通ネットワークが構築できている。 高齢者等交通弱者の通院や買い物などの日常生活の移動手段を確保した。デマンド交通が運行することで公共交通不便地区の解消が図れている。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B
今後の展開 課題等	利用者の多くが定期的利用者で、利用客の硬直化が課題となっている。利用者の年齢層は高い(70 歳以上の利用者が過半数)ことから、需要の掘り起こし及び利用促進を図るにあたり、紙面による周知・PRに工夫を凝らしていく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から 1 年間の新しい市内公共交通サービスとしての実証運行を経て、平成 26 年 10 月より本格運行している。市内を 4 つの区域に分け、利用者の予約に基づき区域内の停留所間を運行している。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、デマンド交通の利便性向上策として、運行形態の見直しや予約システムの改善等について検討することを盛り込む予定である。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均 利用者数
本庄市デマンド交通	月～土(日・祝・年末年始除く)	大人 300 円	8,280 人	37.6 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均 利用者数
本庄市デマンド交通	月～土(日・祝・年末年始除く)	大人 300 円	7,896 人	35.6 人

事業 No	22	事業名	本庄市シャトル便運行事業			
取組内容	平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から本庄駅ー本庄早稲田駅間を結ぶシャトル便の運行を開始した。シャトル便は、路線定期で毎日運行する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	6,562				6,562	
R4(予算)	7,663				7,663	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		12,390 人		目標値(R6) 13,133 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		13,279 人	8,671 人	10,120 人	12,057 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	デマンド交通、民間路線バス・シャトル便が連携し、快適に市内を移動できる公共交通ネットワークが構築できた。 本庄駅周辺市街地と本庄早稲田駅周辺市街地を結ぶことができた。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B
今後の展開 課題等	利用者の増加を目指し、市外在住者の利用が多いという特性を踏まえ、情報発信の方法に工夫を凝らしていく。広報や駅自由通路等を通して PR を行い、増加の一途をたどる運転免許証返納者等の移動手段のない方への周知に努める。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から 1 年間の実証実験を経て、平成 26 年 10 月から高崎線本庄駅と新幹線本庄早稻田駅間を結ぶシャトルバスを運行している。駅間のアクセスが向上したほか、2 駅間に 8 つの停留所を設け、駅間に立地する施設の利用も促進している。

令和 4 年 10 月から試行的に時刻表の見直しを行っている。利用状況を確認しつつ、令和 5 年 10 月からの本格実施に向けた作業を進めている。

また、本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、はにぼんシャトルの利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込む予定である。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
はにぼんシャトル	毎日(無休)	大人 200 円	9,069 人	33.0 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
はにぼんシャトル	毎日(無休)	大人 200 円	7,895 人	28.7 人

事業 No	23	事業名	美里町タクシー利用料金補助事業			
取組内容	町内循環バスに代わる制度として、「運転免許証の交付を受けていない」「運転免許証は持っていても運転することができない」などの、交通弱者の方にタクシー券を配布する事業を実施する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)		3,875			3,875	
R4(予算)		6,500			6,500	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		3,827 人	目標値(R6)	4,250 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		3,025 人	1,680 人	2,544 人	2,618 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	利用者へのアンケート結果をもとに、1回当たりの利用上限枚数を引き続き 4 枚とし、利便性の向上を図った。				C	
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種が進み、外出を自粛する傾向は減りつつあるが、目標値は達成しない見込みである。利用者の増加を図るため、アンケートに基づく制度の改正や広報誌への掲載、他部署との連携し制度の周知に努める。					

【令和 4 年度の実績状況(見込み)】

町内循環バスに代わり、平成 26 年度より運転免許証を持っていない等の交通弱者の方にタクシー利用券を交付する制度を実施(平成 28 年度より本格運用)している。タクシーを利用することにより、いつでもドア to ドアで町内外への移動が可能となり利便性の向上が図られた。

【実績】(R4.4～R4.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均 利用者数
美里町タクシー利用料金 補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚(1 枚 500 円) (1回 4 枚まで)	1,946 人	7.0 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均 利用者数
美里町公共交通(タクシー) 利用料金補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚(1 枚 500 円) (1回 3 枚まで)	1,908 人	6.9 人

事業 No	24	事業名	神川町外出支援タクシー利用料金補助事業			
取組内容	65 歳以上又は福祉タクシー利用料金助成事業対象の障害者手帳所持者で、運転免許証を所持していない者が、医療機関への通院、買物等に出かけるためにタクシーを利用する際の利用券を交付し、タクシー利用料金の一部を補助する事業を実施する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)			8,223		8,223	
R4(予算)			10,170		10,170	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		4,937 人	目標値(R6)	6,100 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		4,932 人	4,063 人	4,200 人	5,030 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	福祉タクシー利用料金助成事業の対象となる障害者手帳所持者も対象者となるよう制度の拡充を行った。登録者の増や外出制限の緩和による影響か、利用者数(利用回数)も増加している。				B	
今後の展開 課題等	広報誌等へ掲載し、登録を呼びかける。 利用者にとってより利用しやすい制度となるよう検討していく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

平成 27 年度より、65 歳以上で、運転免許証を持たない高齢者の方を対象に、通院や買い物等の日常生活に必要な外出支援としてタクシー補助券を交付している。令和4年度から、福祉タクシー利用料金助成事業の対象となる障害者手帳所持者も対象者に加える制度変更を行った。

【実績】(R4.4～R4.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均利用者数
神川町外出支援タクシー利用料金補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚 (1 枚 500 円) (1回 6 枚まで)	3,790 人	14.0 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均利用者数
神川町高齢者外出支援タクシー利用料金補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚 (1 枚 500 円) (1回 6 枚まで)	3,175 人	11.8 人

事業 No	25	事業名	上里町コミュニティバス運行事業			
取組内容	町民アンケートと町民参加型のワークショップを実施し、平成 27 年 3 月「上里町地域公共交通サービス計画」を策定。この計画に基づき、平成 28 年 3 月 1 日より町内を走るコミュニティバスの運行を開始した。運行開始時は幹線の役割をする中央ルートにマイクロバス2台、支線の役割をする 2 つのルートにワゴン車をそれぞれ 1 台の計 4 台で運行していたが、令和元年にダイヤ改正を実施し、支線ルート(北部ルートと南部ルート)を隔日運行とした。令和 2 年 3 月策定した「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき支線ルートの再編を令和 3 年 3 月に実施した。また、令和 3 年から持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的にバス車内への有料広告掲載の募集を開始した。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)				42,085	42,085	
R4(予算)				46,308	46,308	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		16,300 人		目標値(R6) 22,300 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		16,018 人	11,781 人	14,178 人	15,712 人	
	R4 進捗状況					進捗評価
	地域住民の移動手段の確保及び交通空白地域の解消が図れている。 昨年度と比較すると、利用者数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数より少なく、目標値にも届いていない。					B
今後の展開 課題等	利用者の年齢層が高いことから、紙面での周知や PR に工夫を凝らし、新規利用者の獲得に努めていく。 「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、更なる利便性の向上及び定時定路線の総括的な分析等を実施していくとともに、次期公共交通の運行形態についても検討していく。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

町民アンケートと町民参加型ワークショップを実施し、平成 27 年 3 月「上里町地域公共交通サービス計画」を策定しました。この計画に基づき、平成 28 年 3 月 1 日より町内を走る有料のコミュニティバスの運行を開始。幹線の役割をする中央ルートにマイクロバス 2 台、支線の役割をする 2 つのルート(隔日運行)にワゴン車をそれぞれ 1 台の計 4 台で運行している。

高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料パスについては、交付対象者要件を拡大し、利用者数の増加を図るとともに、バスの利用案内を積極的に実施していく。また、自主財源の確保を目的にしたバス車内への有料広告の募集についても継続していく。

【実績】(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
上里町コミュニティバス	月～土(週 6 日、祝日含む)	100 円	11,784 人	50.6 人

【参考】令和 3 年度実績(R3.4～R3.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
上里町コミュニティバス	月～土(週 6 日、祝日含む)	100 円	10,908 人	46.8 人

事業 No	26	事業名	公共交通ネットワーク構築調査事業			
取組内容	利用者を含めた住民アンケート調査等による交通実態調査を実施し、圏域内の公共交通に関する現状の分析や課題の整理を行い、新たな公共交通体系を構築する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	0	0	0	0	0	
KPI 進捗状況	指標		圏域内公共交通事業総利用者数 (JR 及び十王自動車バス利用者数を除く)			
	基準値(H30)		455,255 人	目標値(R6)		488,772 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		475,935 人	354,800 人	406,931 人	418,328 人	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	本庄市は、「誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保すること」を目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定するための作業を進めている。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込む予定である。 昨年度と比較すると、圏域内の公共交通利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。				B	
今後の展開 課題等	今後、運転免許証の自主返納者や高齢者等の交通弱者が増え、公共交通の役割はますます重要となる。 誰もが使いたい時に使える公共交通を目指すため、圏域全体の新たな公共交通体系の構築を検討し、アンケートやヒアリング、また、実証運行等により、継続的に公共交通の調査、研究及び必要に応じた見直しを行う。 本庄市では、「本庄市総合交通計画」の策定から 10 年が経過することから令和 4 年度に新たな計画の策定を予定している。本庄市交通政策協議会で圏域内の交通ネットワークについても検討していく予定である。					

	また、上里町では「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、上里町地域公共交通活性化協議会で圏域内のバス路線の利便性向上について検討していく予定である。
--	---

【令和 4 年度の実施状況(見込み)】

住民ニーズを踏まえた、効率的で効果的な圏域内公共交通ネットワークの構築を目指し、情報の整理や住民ニーズの把握に努め、利便性の高い公共交通システムについて、調査研究を行っている。

本庄市では、「本庄市総合交通計画」の策定から 10 年が経過することから令和 4 年度に「本庄市地域公共交通計画」の策定作業を進めており、本庄市交通政策協議会で圏域内の交通ネットワークについても検討している。

■道路等の交通インフラの整備

分野基本目標 KPI

指標		整備が完了した路線			
基準値(H30)		—		目標値(R6)	15 路線
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	1 路線	3 路線	4 路線	5 路線	
※積算					

(ア)道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備

事業 No	27		事業名	生活幹線道路等の整備事業		
取組内容	日常生活の利便性の向上や安心・安全の確保を図るため、国・県道のネットワークを補完する生活幹線道路等の整備を行う。 本庄市(児玉町)駅前通線、本庄市 1 級 21 号線、美里町 1 級 2 号線、神川町道 1ー4 号線、神川町道 1ー5 号線外主要幹線、上里町児玉工業団地アクセス道路、上里町(仮称)駅北東通り線等、藤木戸・勝場線等。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	31,816	7,359	188,855	114,131	342,161	
R4(予算)	70,111	40,536	180,100	210,431	501,178	
KPI 進捗状況	指標		整備等を行っている路線数			
	基準値(H30)		1 路線	目標値(R6)	7 路線	
	実績 (年度) ※積算	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		3路線	4路線	6路線	6路線	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	本庄市(児玉町)駅前通線は用地買収に着手した。美里町道1級2号線は用地買収、物件補償を進めている。神川町道1級7号は整備が完了した。上里町、藤木戸・勝場線は詳細設計を発注した。				A	
今後の展開 課題等	今後も地権者や関係者との調整を図りながら事業を進め、用地が確保できた時点で工事に着工する。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

生活の利便性の向上や安全性の確保を図り、円滑な通行となるよう生活幹線道路等における道路の拡幅や歩道整備などの整備を計画しています。

本庄市の(児玉町)駅前通線は、国道462号との交差点部において、国道462号を整備している埼玉県と協力して物件補償及び用地買収を行うとともに、今後の物件補償に向けて物件調査を発注しました。また、市道第1級21号線では物件調査を発注し、物件補償及び用地買収を行いました。

美里町の町道1級2号線は、用地買収、物件補償を進めております。

神川町の町道1級4号線は、用地買収を行った区間の工事を発注し、当該路線の整備が完了する予定です。

上里町の児玉工業団地アクセス道路は、令和3年度より繰越をした260m及び令和4年度発注した20mについて完成し、また追加で165m工事発注しました。引き続き用地買収を行い、早期完成を目指します。藤木戸・勝場線は測量及び設計を進めています。
引き続き、国・県道のネットワークを補完する市町道の整備を推進していきます。

事業 No	28	事業名	幹線道路等の整備促進事業			
取組内容	圏域内の道路ネットワークの構築に必要な国・県道等の整備を促進するための活動を行う。 国道 17 号、国道 462 号、県道秩父児玉線、県道花園本庄線、県道長瀬児玉線、国道 254 号本庄藤岡間バイパス。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	235	0	30	120	385	
R4(予算)	255	0	50	120	425	
KPI 進捗状況	指標		整備等を行っている路線数			
	基準値(H30)		5 路線	目標値(R6)		6 路線
	実績 (年度) ※積算	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		5 路線	5 路線	5 路線	5 路線	
	R4 進捗状況					進捗評価
	国道 17 号は国土交通省などに要望活動を実施した。県道花園本庄線は埼玉県に要望活動を実施した。国道 462 号、国道 254 号本庄藤岡間バイパスは埼玉県、群馬県へ要望活動を実施した。					A
今後の展開 課題等	早期の完成を目指し、関係市町と連携して、整備促進活動を行う。 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、総会・要望活動が制限されるが工夫して実施していく。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

圏域を結ぶ重要な路線となる国道 17 号(本庄道路)、国道 462 号、国道 254 号バイパス本庄藤岡間バイパスなどの整備に向けて、関係する自治体と連携し、国や県及び各関係機関などに対し要望活動を実施し、整備の促進をしています。

国道 17 号(本庄道路)建設促進期成同盟会では、令和4年10月5日に国土交通大臣政務官へ要望活動を実施しました。

今後も引き続き、整備を促進するため活動を行っていきます。

国土交通大臣政務官へ要望



(イ)スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備

事業 No	29	事業名		上里スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業		
取組内容	産業振興及び産業振興に係るネットワーク形成、また、交流人口の増加を図るため上里スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	142,793	142,793	
R4(予算)	0	0	0	235,967	235,967	
KPI 進捗状況	指標		整備済道路延長割合			
	基準値(H30)		0.0km	目標値(R6)		2.4km
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	※積算	0.2km	0.1km	0.43km	0.63km	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	神流リバーサイドロードは、用地買収を行い、用地が確保できている箇所、630mについて工事発注した。				B	
今後の展開 課題等	神流リバーサイドロードは引き続き用地買収を行い、用地が確保できた箇所から工事を発注する予定である。令和 5 年度については 310m 工事を発注する予定であり、早期完成を目指す。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

上里スマートインターチェンジへのアクセス性の向上により、圏域内の産業振興及び交流人口の増加が図られる。上里スマートインターチェンジが位置する上里サービスエリア周辺地区(愛称「このはなパーク上里」)は、農業・工業・観光交流拠点と位置づけられており、当該事業によりその拠点としての効果は圏域全体により一層波及することが期待されている。

神流リバーサイドロードは、用地買収及び工事を 630m 発注。引き続き上里スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進する。

■地域の生産者や消費者等の地域連携による地産地消
分野基本目標 KPI

指標		地産地消啓発活動回数			
基準値(H30))		30 回	目標値(R6)		30 回
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	30 回	9 回	10 回	18 回	

(ア)地産地消の推進

事業 No	30	事業名	地産地消推進事業			
取組内容	各地域の農産物の販売を促進するため、即売会の開催やJA埼玉びびきの農業協同組合等の農産物直売所の相互連携の支援を行う。地産地消の拡大を図るための普及啓発活動を行う。農産物のブランド化や販路拡大を推進する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	134	1,324	30	1,488	
R4(予算)	0	780	1,434	30	2,244	
KPI 進捗状況	指標		地産地消啓発活動回数			
	基準値(H30)		30 回		目標値(R6) 30 回	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		30 回	9 回	10 回	18 回	
	R4 進捗状況					進捗評価
	コロナ禍によりイベント等での対面販売、試食といった普及啓発活動の制限が継続され目標値を下回っているものの、全体として復調の兆しが見られる。					B
今後の展開 課題等	コロナ禍を踏まえた情報提供方法を検討する。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

本庄市本泉地区にある「ふれあいの里いずみ亭」では地元産のそばを提供し、埼玉ひびきの農協直売所の各店舗では、様々な地元農産物の販売や収穫体験などを行い(※)、地産地消の推進を図っています。

また、JAとの連携のもと学校給食で地元産野菜を定期的に利用しており、食育の取組の一環として地元産農産物の利用拡大について調整を進めています。

今年度は、コロナ禍の影響もあり圏域外でのイベントに参加することは難しい状況でしたが、例年であれば、埼玉ひびきの農協や生産農家の協力のもと、地元農産物の試食提供、新鮮農産物の販売を行い消費者へのPRを行っております。

※ ぶどう収穫体験、田植え等。コロナ禍の影響もあり、一部イベントは制限ありで行われました。

事業 No	31	事業名	環境保全型農業推進事業			
取組内容	農薬や化学肥料の使用量を減らすなど、環境に配慮した環境保全型農業を推進する農業者等に対し、支援(補助事業)を行う。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	3,157	439	1,200	1,896	6,692	
R4(予算)	3,800	675	1,252	2,303	8,030	
KPI 進捗状況	指標	減農薬・減化学肥料栽培に取り組む作付面積				
	基準値(H30)	7,349a		目標値(R6)	10,000a	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		7,043a	6,660a	7,471a	8,210a	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	本事業は、国の補助事業である。制度の厳格化により取り組み面積が減少していたが、前年度より増加に転じている。				A	
今後の展開 課題等	新規に取り組む農業者の掘り起こしを行う。 要件をクリアしていくための技術的な助言やサポート体制を構築する。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

有機農業推進や環境にやさしい農業を推進する団体への支援(補助事業)を実施しています。また、平成24年度から環境保全型農業支援対策事業として、環境保全に取り組んでいる農業団体等に対し、支援(補助事業)を行っています。今後も引き続き、関係市町、関係機関との連絡調整や情報の共有化を図り、環境に配慮した農業の推進に努めます

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

分野基本目標 KPI

指標		早稲田大学との連携事業数			
基準値(H30)		46 事業	目標値(R6)	62 事業	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
	43 事業	11 事業	33 事業	39 事業	

■人材の育成等

事業 No	32	事業名	早稲田大学との連携事業			
取組内容	早稲田大学と本庄市との協働連携に関する基本協定に基づく連携事業の圏域への拡大を検討し、実施する。 ・市内の小・中学校での総合学習の取組(本庄市) ・市町職員を対象とした研修会の開催					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	104	34	34	34	206	
R4(予算)	105	35	35	35	210	
KPI 進捗状況	指標		早稲田大学との連携事業数			
	基準値(H30)		46 事業	目標値(R6)	62 事業	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		43 事業	11 事業	33 事業	39 事業	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	コロナウイルス感染症の感染対策を徹底したうえ、従来の連携事業を行うとともに、「本庄地域の竹や農作物を使った商品開発」や「選挙事務従事」など、新たな連携事業を実施した。				A	
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつも、新たな早稲田大学との関わり方を引き続き模索していく必要があると考える。					

【令和 4 年度の取組状況(見込み)】

早稲田大学との協働連携に関する基本協定に基づく連携事業の圏域への拡大を検討し、実施しています。

○早稲田大学本庄高等学院「大久保山学」

早稲田大学本庄高等学院における講義「大久保山学」に職員が研修として参加し、高校生との意見交換やグループワークを行いました。

実施期間:5 月 26 日～12 月 8 日(全 8 回)

場所:早稲田大学本庄高等学院

参加者数:早稲田大学本庄高等学院 3 年生 90 名、本庄市職員 13 名

○2022 年度埼玉県本庄市×WEYI 地域創生アイデア創出プログラム

本庄市における「After コロナの地域イノベーション」をテーマとしたビジネスアイデアの創出ワークショップがオンラインで開催され、職員が研修として参加しました。

実施期間:12 月 3 日～12 月 5 日

参加者:早稲田大学本庄高等学院学生、早稲田大学他学生、本庄市職員

○市内の小・中学校での総合学習の取り組み

早大本庄高等学院との連携により、小山川・元小山川
の河川調査を実施。

(6 月・10 月 藤田小)

事業 No	33	事業名	子ども大学ほんじょう			
取組内容	子ども大学ほんじょう実行委員会を組織し、子どもたちが、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、自分たちの地域について学び郷土愛を育む「ふるさと学」、自分をみつめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学ぶことで、自ら考え、行動できるような人材を育成する。 早稲田大学、早稲田大学大学院、早稲田大学本庄高等学院、協賛企業、関係団体と連携し、学校や家庭では経験・体験できない様々な「講義」を行い、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	130	50	50	70	300	
KPI 進捗状況	指標		受講者満足度			
	基準値(H30)		91%	目標値(R6)		95%
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		95%	未開催	未開催	95%	
	R4 進捗状況					進捗評価
	新型コロナウイルス感染者数が低減していない中であつたが、開催方法を工夫し、R4 年度は開催できた。					A
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行つた上で実施できる内容を考案し、今後も、子ども大学ほんじょうの特色である、体験型の講座を提供していく。					

【令和 4 年度の実績状況(見込み)】

新型コロナウイルス感染防止対策を十分に考慮し、飲食を伴わないように、午前班、午後班の2つに分け、実施した。また、6 月から12月に月 1 回講義を開くことにより、感染者数が急増した時でも、一部の講義を休講にするだけで、全体的に開催できるよう工夫をした。結果として、すべての講義を行うことができた。

事業 No	34	事業名	本庄地域地方創生推進研究会			
取組内容	人口増、地域経済の活性化及び魅力あるふるさとの創生を目指して、圏域の特性や施策についての情報交換や調査研究を行い、活力ある圏域へとつながる事業を推進する。 ・情報発信事業 ・空き家活用事業 ・結婚支援事業 ・就活支援事業					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	0	0	0	0	0	
R4(予算)	310	130	140	180	760	
KPI 進捗状況	指標		若年者(20～39 歳)、転入者数(外国人含む) (総務省住民基本台帳人口移動報告)			
	基準値(H30)		2,740 人	目標値(R6)		3,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		2,873 人	2,563 人	2,763 人		
	R4 進捗状況					進捗評価
	依然としてコロナ禍の状況が続くなか、オンラインで開催していた婚活イベントを従来どおり対面で開催するなど、人口増に向けた取組を実施することが出来た。					A
今後の展開 課題等	各市町と連携し、With/After コロナを踏まえた各事業の実施について検討していく必要がある。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

超少子高齢化による人口減少社会を迎え、人口増、地域経済の活性化及び魅力あるふるさとの創生を目指して、圏域の特性や、施策についての情報交換や調査研究を行い、活力ある圏域へとつながる事業を推進しています。

さらに、この圏域では、若い世代の流出が共通課題であることから、圏域の市町を含む県北7市町で構成する「埼玉県北部地域地方創生推進協議会」を設立し、移住促進・婚活支援・就職支援・住環境についての情報発信等の取り組みを実施しています。

【婚活イベント】

Happy Valentine's Party

令和5年2月12日

参加者： 名

【空き家バンク】

累計登録件数（R5年2月時点） 件



2023年、素敵な出会いを見つけませんか？

SAITAMA出会いサポートセンター本庄 × 埼玉県北部地域地方創生推進協議会

Happy Valentine's Party

2023.2.12(SUN) 13:30~16:30 (予定)

会場 はにぼんプラザ(本庄市銀座1-1-1) ※JR本庄駅北口より徒歩5分

対象 20代~40代の恋たま会員または恋たま会員以外の独身男女

人数 40人程度

参加費 恋たま会員の方1,000円
恋たま会員以外の方2,000円

イベントのこんなところが魅力的！

- ①全員の方とお話できる1対1トークタイム！
- ②専用タブレットを使用した婚活PARTY！
（当日にタブレットを貸し出します。）
- ③オリジナルフレグランス作り体験も実施！
- ④有名占い師による2023年運勢占い鑑定付き！
- ⑤恋たま相親会の実施！
- ⑥何となくとも埼玉県北部地域の魅力がたくさん！！

特典

埼玉県北部地域（熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町）の魅力が詰まったプレゼント付き！

申込方法

1月20日（金）から26日（木）までに下記URLまたは申し込みコードよりお申し込みください。（応募者多数の場合は抽選となります。）締切は、1月31日（火）までにご連絡いたします。

申込 <https://ws.formzu.net/dist/S90723720/>

【お問い合わせ先】SAITAMA出会いサポートセンター本庄
(TEL) 0495-24-2755 (MAIL) kottamahan@kenho-shakyo.or.jp
埼玉県北部地域地方創生推進協議会関係事業推進事務局（本庄市企画課）(TEL) 0495-25-1157

※詳細は「SAITAMA出会いサポートセンター」事務局までお問い合わせください。



2023/01/11 15:50

「」埼玉県北部地域地方創生推進協議会

埼玉の空き家物件

PROPERTY LIST

※参考画像

物件写真	物件情報
	【物件概要】 築10年、3LDK、約100㎡ 【所在地】 熊谷市 【特徴】 南向き、庭付き、車庫あり
	【物件概要】 築5年、4LDK、約120㎡ 【所在地】 本庄市 【特徴】 新築同等の仕上がり、完成間伐材
	【物件概要】 築8年、3LDK、約90㎡ 【所在地】 深谷市 【特徴】 2階洋室、バルコニーあり
	【物件概要】 築15年、2LDK、約70㎡ 【所在地】 美里町 【特徴】 駅近、バス利用可
	【物件概要】 築12年、3LDK、約110㎡ 【所在地】 神川町 【特徴】 大規模リフォーム済み
	【物件概要】 築7年、4LDK、約130㎡ 【所在地】 上里町 【特徴】 広々としたリビング、完成間伐材
	【物件概要】 築18年、2LDK、約60㎡ 【所在地】 寄居町 【特徴】 駅近、バス利用可
	【物件概要】 築10年、3LDK、約100㎡ 【所在地】 熊谷市 【特徴】 南向き、庭付き、車庫あり
	【物件概要】 築5年、4LDK、約120㎡ 【所在地】 本庄市 【特徴】 新築同等の仕上がり、完成間伐材
	【物件概要】 築8年、3LDK、約90㎡ 【所在地】 深谷市 【特徴】 2階洋室、バルコニーあり
	【物件概要】 築15年、2LDK、約70㎡ 【所在地】 美里町 【特徴】 駅近、バス利用可
	【物件概要】 築12年、3LDK、約110㎡ 【所在地】 神川町 【特徴】 大規模リフォーム済み
	【物件概要】 築7年、4LDK、約130㎡ 【所在地】 上里町 【特徴】 広々としたリビング、完成間伐材
	【物件概要】 築18年、2LDK、約60㎡ 【所在地】 寄居町 【特徴】 駅近、バス利用可
	【物件概要】 築10年、3LDK、約100㎡ 【所在地】 熊谷市 【特徴】 南向き、庭付き、車庫あり

事業 No	35	事業名	共通課題に即した職員研修			
取組内容	関係市町の研修等に関する情報を共有化し、関係市町職員の参加を推進する。 関係市町の共通する課題に即した研修等を共同で実施する。必要に応じ、専門的な知識を持った外部人材を講師等として活用する。 児玉郡市広域市町村圏組合主催の研修を通して、関係市町職員の共通課題の認識及び行政能力の強化を図る。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R3(決算)	—	—	—	—	—	
R4(予算)	—	—	—	—	—	
KPI 進捗状況	指標		合同研修回数			
	基準値(H30)		年間 4 回	目標値(R6)	年間 6 回	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4(見込み)	R5
		年間 4 回	年間 3 回	年間 3 回	年間 3 回	
	R4 進捗状況				進捗評価	
	新型コロナウイルスの影響により、オンラインや動画視聴による研修が主流になってきたため、個々での参加はしやすくなったが、eラーニングの活用や依然として集合しての研修が厳しい状況であることから、外部からの研修参加が難しくなっていると感じた。R4 の職員全体研修は R2 から引き続き DVD での動画視聴としたため、比較的参加しやすい研修として実施予定である。				B	
今後の展開 課題等	オンライン研修の実施に当たり、外部講師に依頼する場合はインターネット回線数の都合もあるため、各町がオンラインで参加する場合は仕様書に当初から含める必要がある。そのため、仕様書作成の段階で参加を呼びかけ、あらかじめ回線数を確保する必要があると考える。 政策立案研修はグループワークを主として実施しているため、引き続き感染予防対策を万全にした上で実施していく。また、今年度より、講師が変更となり、進め方及びテーマについて研修内容が大きく変更となったため、今年度実施した内容を踏まえて、今後の実施内容について検討を行っていく予定である。					

【令和4年度の取組状況(見込み)】

各市町それぞれが抱える課題の共有や意見の交換を行いながら、共通課題に関する情報の共有化を図り、政策立案研修のテーマとしました。令和4年度の政策立案研修では、新型コロナウイルスの感染予防対策として、研修が終日の場合はグループごとに会場を分ける、発表会の参加人数を減らすなど工夫して、各首長や参加者同士の交流を図りました。

また、本庄市で開催する「人権問題研修」について、令和4年度は方法を3つに分けて実施します。そのうちの1つである研修動画視聴用DVDを関係町に提供し、共通課題に対する必要な取り組みとして共有する予定です。

「政策立案研修」令和4年10月～11月(全5回)実施

講 師：早稲田大学大学院 環境エネルギー研究科 野津 喬 准教授

参加者：19 名

「人権問題研修」

令和5年1月5日(木)～令和5年3月3日(金)予定

講 師：教育サポーター 仲島 正教 氏

参加者：未定(会計年度任用職員を含む全職員を対象)

「定住自立圏人材育成研修会」

令和4年1月19日(木)実施

講 師：早稲田大学マニフェスト研究所

事務局長 中村 健 先生

参加者：圏域内自治体職員 100 名程度

テーマ：2030年の役所、どうなってる？～行動改革編～

地方公務員の“未来”を知った“いま”、行動できていますか？

定住自立圏職員研修

2030年の役所、 どうなってる？～行動改革編～

R5.1.19

01 時 間 | 9:30～11:30
テ ー マ | 自分自身へのリーダーシップ
【本日はこうした方がいいのに！】「この仕事は別のためにやっているのだろう」と思っていることはありませんか？ 自身の仕事を振り返り、改善するための方法を考えます
対 象 | 一般職員

02 時 間 | 13:30～15:30
テ ー マ | 組織の質的向上
【数年後組織は変わることができるぞ！】将来的に目指す組織はどんなイメージ？ 自治体の将来を担う人材を育成するために、職員がやるべき具体的な方法を考えます
対 象 | 管理職員

01&02 会場 | 本庄市役所本庁舎6階大会議室
講師 | 中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長

■講師プロフィール
H14年、27歳で埼玉県川島町長に初当選。
H16年、川島町と近隣の合併に伴い、地方自治探求を目的に早稲田大学大学院公共政策研究科に入学。
早稲田大学マニフェスト研究所で研究員を兼任しながら、大学教員を専攻で修了。
現在 一般社団法人地域経営推進センター代表理事、早稲田大学マニフェスト研究所常務理事も兼ねる。
長野県政経アドバイザー(平成24～28年度)、熊本県政経アドバイザー(平成29年度)。
本庄市定住自立圏全体研修講師(23年度)等、自治体の行政・議会の双方の活動を多数支援中。

問い合わせ先:本庄市定住自立圏事務局(本庄市役所企画課) 25-1157